

教科	科 目	単位数	学年・クラス
国語	国語基礎	2	3年1組

1 使用教材

使用教科書	高校生のための愛媛の文学
出版社	愛媛県高等学校教育研究会国語部会
副教材等	-
出版社	-

2 学習の目標

郷土の文学作品や文学者を題材とした学習活動を行うことで、文学の世界を身近なものとする機会とするとともに、身近な地域を始めとした郷土への興味・関心や愛着を育む。

3 評価の規準・観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	郷土の文学作品や文学者に対する知識や技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	様々なジャンルや年代の文学作品に触れることで豊かな表現方法を身に付けるとともに、文学作品を読み味わうことができている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	文学作品を通して思いや考えを広げたり深めたりしながら、読書に親しむことで自己を向上させるとともに、郷土の価値を再発見しようとしている。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
学習態度	B	A	A	授業態度など
課題提出	B	A	A	指示した時期に提出
ノート提出	B	A	A	指示した時期に提出
定期考査	A	B	C	定期テスト、課題テスト

※表中の A・B・C は評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	古典文学 地名の起こり 「伊予」と「愛媛」 地名研究 各地に残る不思議 伊予国矢野保の黒島のねずみ 大洲の大きな牛蒡 民話・伝承研究 風雅を求めて さびしさは 伊予聖人 近藤篤山 伊予の高嶺	地名の由来を学ぶことを通して、郷土への愛着を深める。 これまでに学習した古典の知識を使うことで、文章を読み味わう楽しさを学ぶ。 音読を通し美しい日本語の響きやリズムに慣れ、地域の名文に親しみを持てるようになる。
2 学期	近・現代の韻文 詩 高橋新吉 詩に親しむ 俳句 正岡子規 高浜虚子と川東碧梧桐 芝不器男 坪内揆典 俳句創作 短歌 正岡子規 短歌鑑賞 近代短歌	高橋新吉の詩を通してダダイズムなど、詩における様々な表現方法への理解を深める。 様々な俳人の作品に触れることで、俳句の小窪傘を理解するとともに、俳句を詠む楽しさを理解する。 俳句とは異なる短歌のリズムや表現方法を学び、単価の魅力を理解する。
3 学期	近・現代の散文 がんばっていきまっしょい 世界の中心で愛をさけぶ ふぉん・しいほるとの娘 坂の上の雲 坊っちゃん	明治期の格調高い文章から平成のベストセラーまで様々な作風の作品に触れることで読書の楽しさを知るとともに、郷土を代表する作家への理解を深める。